

2017春季生活闘争

JR連合FAXニュース

No. 38

2017年3月14日

日本鉄道労働組合連合会

JR九州労組 JR九州高速船 第2回団体交渉

組合員の労苦に応える回答を！

JR九州労組本部及び船舶分会は、3月9日に「2017年度新賃金要求」と「2017年度夏季手当の要求」の第2回団体交渉を行った。

席上会社側より、「平成28年熊本地震の影響」「原油価格の下落に伴う燃料付加運賃の減少」などにより、平成28年度決算は非常に厳しいものになるとの見通しが説明された。

組合側からは、厳しい経営状況であることは認識するものの、人材の定着を図り人材育成の環境を整えるなど、今後を踏まえたベア実施が必要であり、併せて労働条件の改善を強く主張した。

さらに会社側からは、組合員の労苦を理解しながらも、「将来的な経営体力も加味しながら判断する必要がある」との厳しい考え方が示された。

JR九州労組は、誠意ある回答が提示できるよう、今後社内での検討を深めることを要請し、要求実現に向けて取り組みを強化することとしている。